第6回滋賀吃音のつどい
2024年11月24日 13:30~16:30
草津市立市民交流プラザ　大会議室

吃音の子どものライフステージ毎の課題と対応

～小学生から高校まで～

金沢大学

小林　宏明

小林宏明（2019）イラストでわかる子どもの吃音サポートガイド ―人ひとりのニーズに対応する環境調整と合理的配慮. 合同出版.

自己紹介

- 吃音の研究者
  - 吃音のある人の支援方法開発
- 吃音の当事者
  - 石川言友会会員

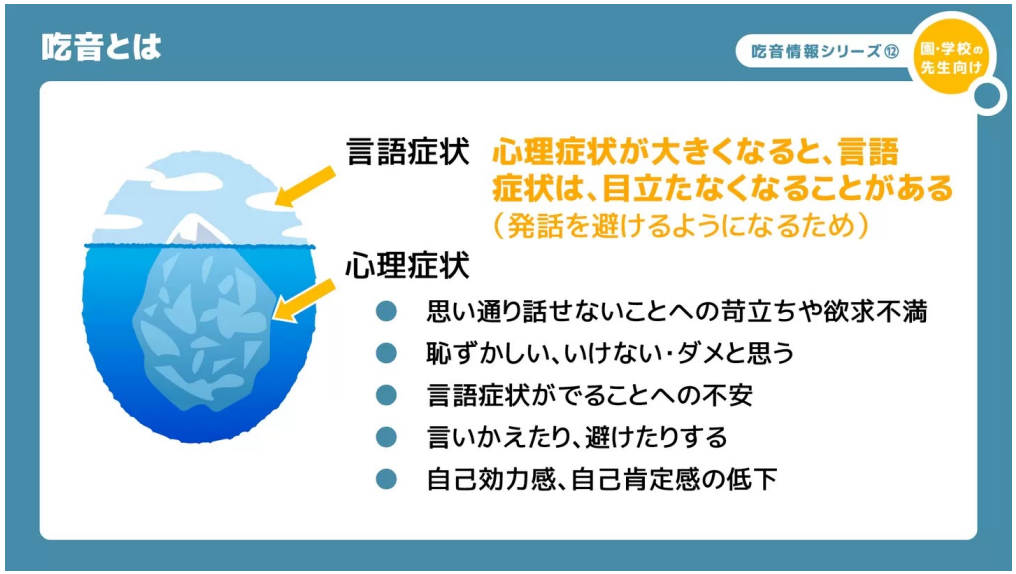
吃音サポートブック

1. 吃音のあるお子さんの保護者向け
   - 吃音サポートノート[保護者版]、吃音情報シリーズ[保護者向け]
2. 吃音のあるお子さん(小学生以上)向け
   - 吃音サポートノート[子ども版]、吃音勉強シリーズ
3. 園・学校の先生向け
   - 吃音情報シリーズ[先生向け]
4. 子ども向け吃音啓発資料
   - 吃音理解シリーズ

今日のお話

- 吃音とは
- 吃音のある子どもの困難
- 吃音のある子どもの課題
- 吃音のある子どもへの対応の提案

吃音とは



吃音のある子どもの困難

吃音のある子どもの困難の具体例（小学校）

- 授業の発表（決まった言葉を言う、長い説明　など）
- 音読（一人ずつ順番に読む「丸読み」 など）
- 計算カード・かけ算九九の口唱（時間制限　など）
- 日直当番（号令が言えない　など）
- 入学式、卒業式（呼称、呼びかけ　など）
- 自己紹介（自分の名前が言えない　など）

吃音のある子どもの困難の具体例（中高）

- 総合的な学習・探究（グループ活動、プレゼンなど）
- ペアワーク、グループワーク（英語の会話課題など）
- 部活動（先輩への挨拶、練習時のかけ声など）
- 英検、入試の面接試験

吃音のある子どもの困難の具体例（大学）

- 研究発表（研究室ゼミ、論文発表会など）
- インターンシップ、実習
- 就職活動

吃音のある子どもの困難の具体例（社会人）
飯村（2017）

- 電話対応
- 上司との会話
- 同僚・後輩との会話
- 顧客との会話
- 朝礼や終礼で話す
- 発表をする

飯村大智（2017）吃音者の就労と合理的配慮に関する実態調査. 音声言語医学, 58, 205-215.

吃音のある子ども保護者の不安や不満
（Kobayashi, 2023）

- 発表や音読、当番などがちゃんとできるか不安
- からわれないか、いじめられないか不安
- 担任の先生が、吃音の理解のない先生だったらどうしようと毎年不安
- 毎年、先生に吃音のことを伝えなくてはいけないのがしんどい
- 担任の先生とコミュニケーションが取りづらい
- 担任の先生以外に吃音の情報が伝わらない

Hiroaki Kobayashi(2023)
Difficulties faced by parents of children who stutter and their requests for support in Japan. 32nd World Congress of the IALP

吃音が進路選択に与える影響(Kobayashi, 2023)

- 大学で就職活動を乗り切る自信がなく、高卒で就職する道を選んだ
- 小学校の時にからかわれた体験があり、中学校は良い環境を目指し私立を受験した
- 本当は人と関わる（話す）仕事がしたかったが、製造などのしゃべらないで黙々とする仕事を選んだ

Hiroaki Kobayashi(2023)
Difficulties faced by parents of children who stutter and their requests for support in Japan. 32nd World Congress of the IALP

吃音のある子どもの課題

- 吃音に対する自己理解をどう図るか
- 周囲の理解や配慮をどう得るか
- 心理面・発話面へどう対応するか

「吃音」に対する自己理解をどう図るか

- 吃音についての正しい情報を得る
  - 吃音は、「悪いこと、ダメなこと」ではない
- 吃音とどう折り合いをつけるか
  - 人により様々（多くの人は、「ビター」もしくは「ビタスイート」）
  - 正解はない
  - 多くの人の出会い（吃音のある人を含む）や、人生経験で変化していく

周囲の理解や配慮をどう得るか

- 吃音に対する差別や偏見、誤解
  - ベースには、無理解、無関心
- 配慮
  - 周囲の理解に基づく配慮
  - 権利としての配慮（「合理的配慮」）

合理的配慮とは

- 「障害者差別解消法」の中で示された概念
  - 申告制（何らかの対応を必要としていることの意思を伝える必要）
  - 配慮の内容や方法についての交渉が必要（「負担が重すぎない範囲での対応」の中身は、双方の協議で決める）

学校教育における合理的配慮

- アコモデーション
  - 教育課程や教育目標は変更しない程度の配慮
- ストラテジー
  - 多様な学習を支援するために使用される指導テクニック
- モディフィケーション
  - 教育課程や教育目標の変更を伴う支援

川合ら（2016）特別支援教育総論. インクルーシブ時代の理論と実践. 北大路書房

アコモデーション

- 日直を2人にする
- 当番のセリフを変える
- かけ算九九の口唱テストで、言葉が詰まるのを減点しない
- かけ算九九の口唱テストの時間制限をなくす

ストラテジー

- 教科書の音読課題を斉読（他の人と一緒に読む）で行う
- 様々な発表方法を取り入れる（板書して回答、タブレットで回答など）
- プレゼン資料の工夫（言いにくい言葉を画面に提示しておく）

モディフィケーション

- 授業中にあてない
- 総合的な学習の時間の発表を免除する
- 英語のスピーチの試験を別室でする
- 日直を免除する

合理的配慮を行う上で必要となること

- 自己決定
- アドボカシー、セルフアドボカシー

自己決定

- 吃音のある人本人が、自分で、配慮の内容や方法を決める
  - 「何をするか」
  - 「何はしないか」
- 自己決定がスムーズにされるためには
  - 「どのような配慮のメニュー（選択肢）があるか」が示されている
  - 吃音の改善に有効な配慮の提案がされている

アドボカシー、セルフアドボカシー

- 合理的配慮を受けるためには、①配慮の申し出、②「どこまで合理的配慮として認めてもらうか」の交渉が必要
  - 児童・生徒（保護者）に、合理的配慮の申し出をする手助けをしたり、学校などとの交渉の際に代弁や仲介をしてくれたりする存在（アドボカシー（代弁、権利擁護））が必要
  - 「先生（あるいは大人）に相談して良かった」という成功経験を積むことが、児童・生徒自身で合理的配慮の申し出や交渉を行うセルフアドボカシーにつながる

心理面・発話面へどう対応するか

- 心理面
  - 不安（予期不安、社交不安など）
  - 自己肯定感の低下
  - 「隠れ吃音」（言い換え等で一見吃音が目立たないが、心理面の困難が大きい）
- 発話面
  - 力の入った苦しい吃音

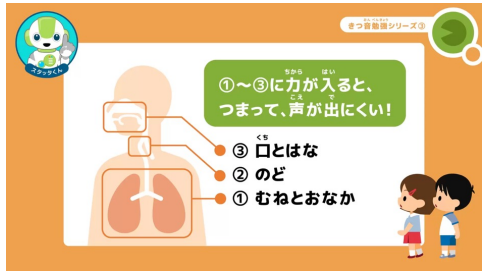
吃音のある子どもへの対応の提案

- 「吃音の勉強」
- 合理的配慮
- 周囲への吃音の周知
- 心理・発話面への対応

吃音の勉強

吃音勉強シリーズ（吃音のあるお子さん向け）

- 1. きつ音ってなあに
- 2. きつ音って悪いこと?
- 3. 声を出して話すときの体のしくみ
- 4. きつ音が出やすい時、出にくい時
- 5. きつ音が出る時のからだとこころ
- 6. きつ音のあるお友達のきつ音への思い
- 7. きつ音を楽にする方法（小学生版）
- 8. きつ音を楽にする方法（中高生版）
- 9. きつ音をからかわれたら
- 10. きつ音の説明の仕方
- 11. きつ音が出にくい話し方1
- 12. きつ音が出にくい話し方2

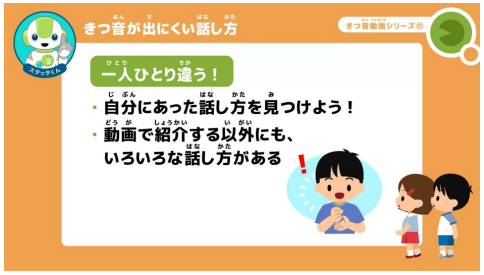


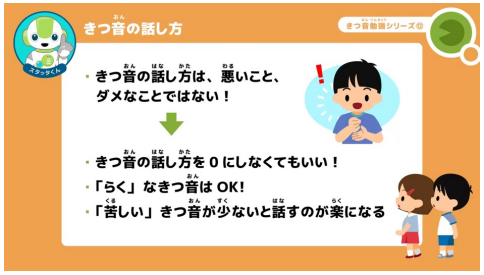
きつ音を楽にする方法
いろいろある！

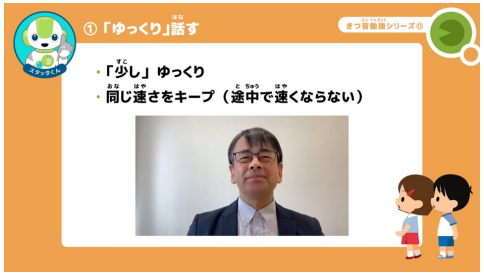
② こころの問題へのアプローチ
吃音は、悪いこと、ダメなことでないことを
確認する
自分のきつ音のこころの問題の特徴を知る

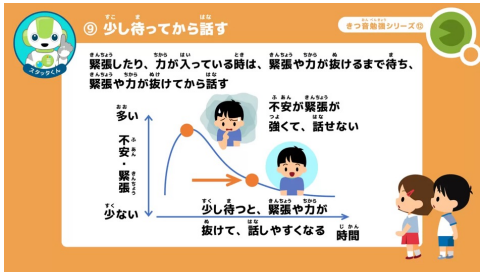
① まわりの人へのアプローチ
お家の人や先生、友達に、
吃音の相談や説明をする
吃音で困っていることを助けてもらう

③ きつ音の話し方へのアプローチ
自分のきつ音の話し方の特徴を知る
吃音が出にくい話し方を使う（別の動画参考）


きつ音が出にくい話し方
一人ひとり違う！
自分にあった話し方を見つけよう！
動画で紹介する以外にも、
いろいろな話し方がある

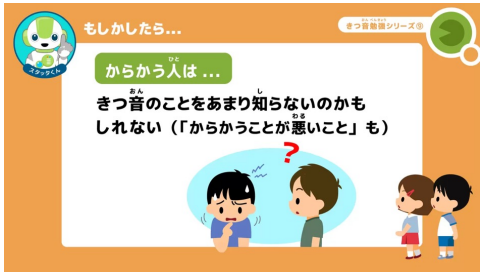

きつ音の話し方
きつ音の話し方は、悪いこと、
ダメなことではない！
きつ音の話し方を０にしなくてもいい！
「らく」なきつ音は OK!
「苦しい」きつ音が少ないと話すのが楽になる

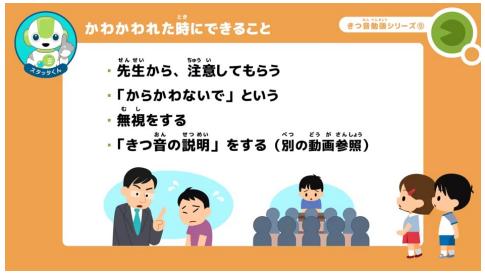

①「ゆっくり」話す
「少し」ゆっくり
同じ速さをキープ（途中で速くならない）


⑨ 少し待ってから話す
緊張したり、力が入っている時は、緊張や力が抜けるまで待ち、
緊張や力が抜けてから話す
多い
不安・緊張
少ない
不安が緊張が
強くて、話せない
少し待つと、緊張や力が
抜けて、話しやすくなる
時間

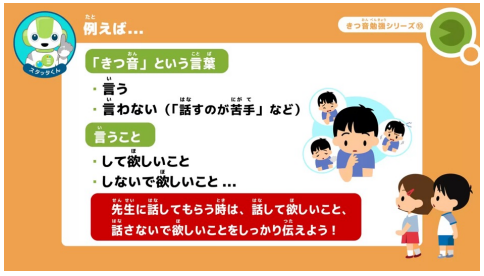
大事なこと ②
きつ音をからかうのは
悪いこと
ダメなこと

きつ音をからかわれたら...
お家の人や、先生に相談しよう！

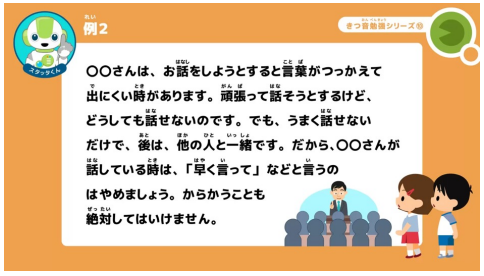

もしかしたら...
からかう人は ...
きつ音のことをあまり知らないのかも
しれない（「からかうことが悪いこと」も）


かわかわれた時にできること
先生から、注意してもらう
「からかわないで」という
無視をする
「きつ音の説明」をする（別の動画参照）

もしかしたら...
きつ音のことを ...
よく知らない
心配してくれている
きつ音のことが分かれば、
味方になってくれるかも !!!


例えば...
「きつ音」という言葉
言う
言わない（「話すのが苦手」など）
言うこと
して欲しいこと
しないで欲しいこと ...
先生に話してもらう時は、話して欲しいこと、
話さないで欲しいことをしっかり伝えよう！

きつ音の説明の仕方
どのように？
きまりはない（自分で決めていい）


例2
○○さんは、お話をしようとすると言葉がつっかえて
出にくい時があります。頑張って話そうとするけど、
どうしても話せないのです。でも、うまく話せない
だけで、後は、他の人と一緒です。だから、○○さんが
話している時は、「早く言って」などと言うの
はやめましょう。からかうことも
絶対してはいけません。

合理的配慮

書いた日2024年 4月 20日

担任の先生へのお願い

9 歳　学年 小3

分かって欲しいこと

吃音があって、時々、言葉がつまって出なくなることがある

して欲しいこと

きつ音が出た時は、言葉が出るまで待って欲しい
日直当番のセリフが言いにくい時は、セリフを少し変更することを認めて欲しい
きつ音をからかう人がいたら、その人を注意をして欲しい

しないで欲しいこと

でも、クラス全体への説明はしないで欲しい

担任の人に希望することを記入しましょう。

小学校

- 学級担任の先生を通して依頼することが多い
  - 言語聴覚士等の専門家の所見が有効な場合も
  - 通級指導教室との相談センターとの連携
  - 校長先生を通して依頼される方も
- お子さんの意思の確認、尊重
  - 相談の場への同席（セレモニー的でも）
  - お子さんの要望を踏まえた対応
- 吃音をカミングアウトすることで、周囲の理解が得られる場合も

中学校

- 基本的な枠組みは小学校と一緒
  - 教科担任制となるため、先生方同士の情報共有がより重要に

高校

- 担任の先生に加え、「相談室」が、窓口となる場合がある

英検

- 障がい等がある方を対象とした受験上の配慮の対象となる
  - 申告制、配慮を受けるためには、申請する必要がある。
  - 診断書または状況報告書が必要
- 配慮の内容
  - 一次試験　通常試験（発話を必要としないため配慮不要）
  - 二次試験　発話への配慮（話がつまる、大きな声が出ないなどの状況を面接委員に伝え、注意深く受験者の発話をきく、受験者の発話が止まってしまっても回答を促すような声かけは行わず制限時間まで待つ、受験者に大きな声を発話を促さない等の配慮をします）

入学試験

- 障がい等がある方を対象とした受験上の配慮の対象となる場合が多い
  - 面接試験の配慮が中心
  - 診断書が必要な場合が多い

大学

- 障がい学生支援室等が窓口となっている場合が多い
  - 修学に関する相談
  - 授業担当者への「配慮依頼」の送付

就職試験

- 吃音があることを申し出ることで配慮がされることが多い
  - エントリーシート等に吃音のことを書く
  - 個別に問い合わせなどして伝える
- 「逆面接」という考え方
  - 吃音への配慮の程度は様々
  - 就職面接の際に吃音のことを伝えて、反応を見る

職場

- 職場により、様々
- 困難を申し出ることで、配慮が得られる場合も多い
  - 電話などを極力受けなくて良いようにしてもらう
  - 会議などで吃音が出ても、最後まで話を聞いてもらう
  - 懇親会の幹事などで、会計など発話しなくても良い仕事を回してもらう

必要な合理的配慮（社会人）
飯村（2017）

- 苦手な場面があることを理解してもらう
- 吃音のある自分を受け入れてもらう
- 苦手な言葉があることを理解してもらう
- 吃音の正しい知識をもってもらう
- 言葉以外の部分で仕事を評価してもらう
- 吃音を気にせず接してもらう
- 他の人と同じように接してもらう
- 話を最後まで聞いてもらう
- 言葉が出るまで待ってもらう
- 吃音でできないことを他の人にやってもらう
- 電話対応を他の人にやってもらう
- 言葉の先取りをしてもらう

飯村大智（2017）吃音者の就労と合理的配慮に関する実態調査. 音声言語医学, 58, 205-215.

障害者雇用

- 障害者の法定雇用率の段階的引き上げ
  - 令和5年度　2.3%→ 令和6年4月　2.5% → 令和8年7月 2.7%
  - 障害者雇用のための事業主支援の強化
- 吃音は、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳の対象
  - 手帳の取得で、障害者雇用が可能に

周囲の人への吃音の周知

クラスへの吃音の啓発が有効な理由

吃音情報シリーズ⑯ 園・学校の先生向け

- 周囲からは分かりにくい吃音の困難を理解してもらえる
- 「『吃音』が悪いこと、ダメなことではない」ことを理解してもらえる
- 吃音へのからかいは失礼なことであることを理解してもらえる
- 特別な配慮（合理的配慮）の周囲の受け入れが良くなる

クラスへの吃音の啓発を行う前提条件

吃音情報シリーズ⑯ 園・学校の先生向け

保護者、本人の希望、もしくは承諾がある

- クラスへの啓発をする前に、必ず、保護者と本人の希望を確認し、承諾が得られない場合は実施しない
- クラスへの啓発を行う場合も、必ず、保護者と本人と具体的な内容や方法についての念密な打ち合わせをする。

クラスへの吃音の啓発の内容の例

吃音情報シリーズ⑯ 園・学校の先生向け

- ふざけたり、わざとやっているわけではないこと
- 本人の力ではどうしようもできないこと
- ことばがうまく出ないだけで、あとはみんなと同じこと
- からかわれると、とても辛い気持ちになること
- 言葉が出るまで待っていてくれると話しやすいこと
- 吃音のために、発表や当番などに困難があること

こんなことも…
・100人に一人いる
・有名人の中にもいる

心理・発話面への対応

② こころの問題へのアプローチ
きつ音勉強シリーズ⑧
スタッタくん
心理面
吃音は、悪いこと、ダメなことでないことを
確認する
自分のきつ音のこころの問題の特徴を知る

② こころの問題へのアプローチ
きつ音勉強シリーズ⑧
スタッタくん
心理面
少しずつ、不安や緊張を感じていることに
挑戦する
「良いところ探し」をする

② こころの問題へのアプローチ
きつ音勉強シリーズ⑧
スタッタくん
心理面
きつ音があってもがんばっている自分を褒める！

きつ音の話し方

きつ音勉強シリーズ⑪

発話

- きつ音の話し方は、悪いこと、ダメなことではない！

- きつ音の話し方を０にしなくてもいい！
- 「らく」なきつ音はOK!
- 「苦しい」きつ音が少ないと話すのが楽になる

きつ音が出にくい話し方

きつ音勉強シリーズ⑪

発話

一人ひとり違う！

- 自分にあった話し方を見つけよう！
  - ゆっくり話す
  - そっと、やわらかく話す
  - はじめの音を繰り返したり、伸ばしたりする
  - 少し待って話す

きつ音が出にくい話し方

きつ音勉強シリーズ⑪

発話

- DAF、FAFの活用
- バーチャルリアリティー(VR)による練習
- 事前録画
- 合成音声の活用
- メタバースの活用
- …

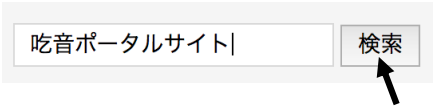
専門機関・吃音のある中高生のつどい等での相談

吃音情報シリーズ⑧

保護者向け

- 通級指導教室（ことばの教室）
- 医療機関
- セルフヘルプグループなど

ご清聴、ありがとうございました

ご質問・ご意見は
kobah@kitsuon-portal.jp まで

さらに詳しい情報は
http://www.kitsuon-portal.jp/